

平成 20 年度 事業の概要

日本ねじ研究協会

平成 20 年度 事業の概要

日本ねじ研究協会における平成 20 年度の事業は、理事会が総括的事項に対処し、具体的な事業は、研究・標準化・指導及び出版の各委員会又はそのもとに設けられた分科会が分担して実施されました。

以下、その概要について述べますが、詳しくは別途作成される平成 20 年度事業報告書又は出版物をご参照ください。

I. 研究委員会に関する事業

小ねじ類のゆるみに関する調査研究

この調査研究は、軸直角方向加振による小ねじ類のゆるみ試験方法の確立と、汎用的で信頼性の高い小ねじ類のゆるみ試験装置を製作することを目的としたものである。平成 19 年度から(社)日本ねじ工業協会との委託契約を締結し、当会と信州大学との共同研究契約に基づいて 3 ケ年計画で進めており、平成 20 年度は前年度からの継続として、基礎実験装置の製作と調整、基礎実験の実施とゆるみ試験方法の検討、ゆるみ機構に関する基礎研究を実施した。その結果の中間報告会を、平成 21 年 3 月 5 日に信州大学において開催した。

II. 標準化委員会に関する事業

ISO 国内委員会

経済産業省産業技術環境局からの再委託事業として、ISO/TC 1 (ねじ)、TC 2 (締結用部品) 及び TC 20/SC 4 (航空宇宙用締結システム) の国際規格回答原案として、新規作業項目提案 NWIP(New Work Item Proposal)、作業原案 WD(Working Draft)、委員会原案 CD(Committee Draft)、国際規格原案 DIS(Draft International Standards)、最終国際規格原案 FDIS(Final Draft International Standards)及び定期見直し SR(Systematic Review)の調査作成を行った。

1. ISO/TC1 国内委員会

ISO/TC1 国内委員会[委員長：丸山一男氏(東京工業大学名誉教授)、幹事：辻裕一氏(東京電機大学)]は、ねじの基本規格を担当する専門委員会 ISO/TC1 (ねじ) の対策を行った。ISO/TC1 は、スウェーデンが幹事国を降りた 2000 年から 2004 年までの間、幹事国不在で休止状態にあったが、2005 年 3 月から中国 (SAC) が幹事国を引き受けて活動を再開した。

幹事国の中がまとめたビジネスプランには、過去に廃止されたインチねじに関する規格の復活が明記されているが、メートルねじへの一本化に逆行するため、我が国としては反対している。2008 年の活動は、廃止規格の復活として FDIS725 (インチねじの基準寸法) の回付があったので、我が国としては反対理由を付して、P メンバー各国へ反対投票を依頼するメールを送った。

その結果、FDIS725 は否決された（P メンバー 賛成 7, 反対 4）。また、DIS1501(ミニチュアねじ)は賛成投票、DIS5408(ねじ用語)は反対投票しており、両規格案とも現在 FDIS 投票に付されている段階である。

2. ISO/TC2 国内委員会

ISO/TC2 国内委員会[委員長：大橋宣俊氏(元湘南工科大学), 副委員長：萩原正弥氏(名古屋工業大学), 幹事：根本俊雄氏(元東京大学)]は、締結用部品の規格を担当する専門委員会 ISO/TC2(締結用部品)の対策を行った。2008 年は、以下の 16 件の対策に当たった。

SC1(機械的性質)関係では、日本提案第 1 号で 2005 年 2 月に発行された ISO16047(締結用部品 – トルク／締付け力試験)に基づく機械的性質の見直し改正が進められた。

DIS898-1(ボルトの機械的性質), CD898-2(並目ねじナットの機械的性質), CD898-6(細目ねじナットの機械的性質), CD898-5(止めねじの機械的性質), WD898-7(小ねじのねじり強さ試験), FDIS2320(プリベリングトルク形ナットの機械的性質), DIS3506-1(ステンレス鋼製ボルトの機械的性質), DIS3506-2(ステンレス鋼製ナットの機械的性質), DIS3506-3(ステンレス鋼製止めねじの機械的性質), DIS3506-4(ステンレス鋼製タッピンねじの機械的性質)の改正投票を行った。

SC7(関連規格)関係では、CD225(ねじ部の寸法及び記号), FDIS1891(ねじ部品用語)の 2 件の改正投票を行った。

SC10(製品規格)関係では、FDIS10644(座金組込みねじ), DIS10673(座金組込みねじ用平座金), FDIS8752(溝付きスプリング平行ピン－重荷重用), FDIS13337(溝付きスプリング平行ピン－軽荷重用)の 4 件の改正投票を行った。

ISO/TC2 関係の国際会議は、ISO/TC2/SC1(締結用部品の機械的性質), ISO/TC2/SC7(締結用部品の関連規格), SC1/WG1(表面皮膜), SC1/WG10(ナット), SC1/WG11(非鉄金属製締結部品), SC10/WG2(外側及び内側駆動のねじ及び植込みボルト), SC10/WG3(ナット), SC10/WG5(すりわり並びに十字穴付き小ねじ及びタッピンねじ), SC10/WG10(ピン)の会議が、平成 20(2008)年 10 月 13 日～17 日にかけてスイス国ウィンターツール市で開催され、SC1 及び SC7 の日本代表として萩原正弥氏(名古屋工業大学)が出席し、また、併行して開催された WG 会議にもエキスパートとして出席した。この会議において、次回 2009 年の ISO/TC2 関係の国際会議を日本で開催することが決定されたのを受けて、国際会議開催の準備委員会(委員長 萩原正弥氏)を設置した。

締結用部品に関しては、ほとんどの JIS を国際一致規格とする方針をとっており、規定内容の充実や新しい規定の必要性に関しては、ISO の場で直接議論することが重要である。そのため、P メンバーとして積極的に参加し、日本の意見を国際規格に反映させる必要がある。

平成 20(2008)年度の ISO 原案の回答状況を別表 1 に、制定・改正された ISO 規格を別表 2 に示した。

(別表1) ISO/TC1, ISO/TC2, ISO/TC20/SC4 の国際回答状況
(TC20/SC4 の回答一覧は省略してある)

文書	規格番号及び名称	回答期限	回答の内容	回答の有無
NWIP	Hexagon_socket_head_cap_screws_	2008年6月8日	賛成	有
NWIP	ISO_898-2_Mechanical properties of fasteners — Part 2: Nuts with specified proof load values; coarse thread (Revision of ISO 898-2)	2008年9月6日	賛成	有
NWIP	ISO_898-6_Mechanical properties of fasteners - Part 6: Nuts with specified proof load values - Fine pitch thread (Revision of ISO 898-6)	2008年9月6日	賛成	有
NWIP	ISO_WD_7380-1_Hexagon_socket_button_head screws - Part 1: Button head (head shape A)	2009年2月8日	賛成	有
NWIP	ISO_WD_7380-2_Hexagon_socket_button_head screws - Part 2: Button head with collar (head shape B)	2009年2月8日	賛成	有
CD	ISO_CD_225_Fasteners — Bolts, screws, studs and nuts — Symbols and designations of dimensions	2008年5月20日	コメント付賛成	有
CD	ISO_CD_898-2_Mechanical properties of fasteners — Part 2: Nuts with specified proof load values; coarse thread	2008年9月6日	コメント付賛成	有
CD	ISO_CD_898-6_Mechanical properties of fasteners - Part 6: Nuts with specified proof load values - Fine pitch thread	2008年9月6日	コメント付賛成	有
DIS	DIS_1501_ISO_miniature_screw_threads	2008年7月28日	コメント付賛成	有
DIS	DIS_10673_Plain washers for screw and washer assemblies - Small, normal and large series - Product grade A	2008年7月28日	賛成	有
DIS	DIS_5408 Screw Threads -- Vocabulary	2008年8月14日	反対	有
DIS	DIS_3506-1_Mechanical properties of corrosion-resistant stainless steel fasteners — Part 1: Bolts, screws and studs	2008年9月10日	コメント付賛成	有
DIS	DIS3506-2_Mechanical properties of corrosion-resistant stainless steel fasteners — Part 2: Nuts	2008年9月10日	コメント付賛成	有

DIS	DIS_3506-3_Mechanical properties of corrosion-resistant stainless steel fasteners — Part 3: Set screws and similar fasteners not under tensile stress	2008年9月10日	コメント付賛成	有
DIS	DIS3506-4_Mechanical properties of corrosion-resistant stainless steel fasteners — Part 4: Tapping screws	2008年9月10日	コメント付賛成	有
FDIS	FDIS2320_Prevailing torque type steel nuts - Mechanical and performance properties	2008年9月24日	賛成	有
FDIS	FDIS725_ISO inch screw thread - Basic dimensions	2008年11月16日	反対	有
FDIS	FDIS1891_Fasteners -- Terminology and nomenclature	2008年12月2日	コメント付賛成	有
FDIS	FDIS898-1_Mechanical properties of fasteners made of carbon steel and alloy steel - Part 1: Bolts, screws and studs with specified property classes - Coarse thread and fine pitch thread	2009年1月27日	コメント付賛成	有

(別表2) 平成20(2008)年度中に制定・改正されたISO規格

規格番号	規格名称	年月日	対応JIS
ISO 3185	Aerospace – Bolts, normal bihexagonal head, normal shank, short or medium length MJ threads, metallic material, coated or uncoated, strength classes less than or equal to 1100MPa - Dimensions	2008-08 改正2版	–
ISO 3186	Aerospace – Bolts, large bihexagonal head, normal shank, short or medium length MJ threads, metallic material, coated or uncoated, strength classes 1250MPa to 1800MPa – Dimensions	2008-08 改正2版	–
ISO 3193	Aerospace – Bolts, normal hexagonal head, normal shank, short or medium length MJ threads, metallic material, coated or uncoated, strength classes less than or equal to 1100MPa - Dimensions	2008-08 改正2版	–
ISO 5856	Aerospace – Screws, 100 degrees normal countersunk head, internal offset cruciform ribbed or unribbed drive, normal shank, short or medium length MJ threads, metallic material, coated or uncoated, strength classes less than or equal to 1100MPa - Dimensions	2008-08 改正2版	–
ISO 5857	Aerospace – Bolts, with MJ threads, made of alloy steel,	2008-08 改正2版	–

	strength class 1250MPa – Procurement specification		
ISO 8168	Aerospace – Bolts, with MJ threads, made of heat and corrosion resisting steel, strength class 1100MPa – Procurement specification	2008-08 改正 2 版	–
ISO 8279	Aerospace – Nuts, hexagonal, plain, normal height, normal across flats, with MJ threads, classifications: 600MPa (at ambient temperature) / 120 degrees C, 600MPa (at ambient temperature) / 235 degrees C, 900MPa (at ambient temperature) / 425 degrees C, 1100MPa (at ambient temperature) / 235 degrees C, 1100MPa (at ambient temperature)/ 315 degrees C, 1100MPa (at ambient temperature) / 650 degrees C, 1210MPa(at ambient temperature) / 730 degrees C, 1250MPa (at ambient temperature) / 235 degrees C, and 1550MPa (at ambient temperature) / 600 degrees C, – Dimensions	2008-08 改正 3 版	–
ISO 8641	Aerospace – Self-locking nuts with maximum operating temperature greater than 425 degrees C – Procurement specification	2008-08 改正 2 版	–
ISO 8642	Aerospace – Self-locking nuts with maximum operating temperature greater than 425 degrees C – Test methods	2008-08 改正 2 版	–
ISO 9255	Aerospace – Bolts, normal spline head, normal shank, short or medium length MJ threads, metallic material, coated or uncoated, strength classes less than or equal to 1100MPa - Dimensions	2008-08 改正 2 版	–
ISO 12257	Aerospace – Internal six-lobe drives – Metric series	2008-08 制定 1 版	–
ISO 13921	Aerospace – Screws, 100 degrees reduced countersunk head, internal offset cruciform ribbed or unribbed drive, normal shank, short or medium length MJ threads, metallic material, coated or uncoated, strength classes less than or equal to 1100MPa - Dimensions	2008-08 改正 2 版	–
ISO 7689	Aerospace – Bolts, with MJ threads, made of alloy steel, strength class 1 100 MPa – Procurement specification	2008-10 改正 2 版	–
ISO 2320	Prevailing torque type steel nuts – Mechanical and performance properties	2008-11 改正 4 版	JIS B 1056
ISO 1891	Fasteners – Terminology	2009-02 改正 2 版	JIS B 0101

日本工業規格の制定及び改正原案の作成

平成 20 年度は、財団法人日本規格協会の公募事業として、次の 10 件の JIS 原案の作成を行った。

- 1) B1071 締結用部品－精度測定方法(改正)
- 2) B1117 すりわり付き止めねじ(改正)
- 3) B1118 四角止めねじ(改正)
- 4) B1173 植込みボルト(改正)
- 5) B1180 六角ボルト(追補改正)
- 6) B1181 六角ナット(追補改正)
- 7) B1183 六角袋ナット(改正)
- 8) B1184 ちょうボルト(改正)
- 9) B1185 ちょうナット(改正)
- 10) B1196 溶接ナット(改正)

これらの原案は、次の原案作成委員会が担当し、平成 20 年 6 月から平成 21 年 2 月までの間、2~4 回の委員会を開催して慎重に審議・作成されたものである。

- 1)の原案：B1071 改正原案作成委員会 [委員長 賀勢晋司氏（信州大学）、幹事 西山信夫氏（メイラ株式会社）]
- 2)~3)の原案：止めねじ JIS 原案作成委員会 [委員長 大橋宣俊氏（元湘南工科大学）、幹事 小澤興一氏（株式会社互省製作所）]
- 4), 8)の原案：植込み・ちょうボルト JIS 原案作成委員会 [委員長 熊倉 進氏（神奈川大学）、幹事 築山勝浩氏（株式会社佐賀鉄工所）]
- 5)の原案：六角ボルト JIS 原案作成委員会 [委員長 大橋宣俊氏（元湘南工科大学）、幹事 根本俊雄氏（元東京大学）]
- 6), 7)の原案：六角ナット JIS 原案作成委員会 [委員長 大橋宣俊氏（元湘南工科大学）、幹事 根本俊雄氏（元東京大学）]
- 9), 10)の原案：溶接・ちょうナット JIS 原案作成委員会 [委員長 熊倉 進氏（神奈川大学）、幹事 山岸 章氏（株式会社サトーラシ）]

本年度作成された上記 JIS 原案は、平成 21 年 4 月以降、工業標準化法第 12 条第 1 項又は第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づいて、日本ねじ研究協会 (JFRI) 及び日本規格協会 (JSA) 連名で、経済産業大臣あてに日本工業規格の制定・改正の申出が行われることになってい

る。

以下は、その概要である。

(1) JIS B1071 締結用部品－精度測定方法（改正）

この規格は、昭和 60 (1985) 年に、“JIS B 1021 ねじ部品の公差方式”に基づいたねじ部品の形状・寸法を測定するために“JIS B 1071 ねじ部品の精度測定方法”として制定した。その後、JIS B 1021 は “JIS B 1021:2003 締結用部品の公差－第 1 部：ボルト、ねじ、植込みボルト及びナット

一部品等級 A, B 及び C”として平成 15（2003）年に改正された。

これにより、JIS B 1021 と JIS B 1071 の間に不整合が生じたが、JIS B 1021 に規定する幾何公差の測定方法を導入するに当たっての課題を整理するための調査研究を、平成 18 年度～19 年度に行った。

以上を踏まえて、JIS B 1021 との整合（寸法公差、幾何公差、ゲージ及び測定装置）を考慮した改正を行った。

・主な改正点

- (1)測定項目を JIS B 1021 と整合させた。
- (2)幾何公差の測定方法を JIS B 1021 の附属書 C（ゲージ及び測定装置の例）を含めて、可能な限り整合させたが、代替方法も追加した。なお、従来の測定方法は削除した。
- (3)規定項目及び規格票の様式を JIS Z8301 に整合させた。

（2）JIS B1117 すりわり付き止めねじ（改正）

この規格は、ISO 4766(Slotted set screws with flat point), ISO 7434(Slotted set screws with cone point), ISO 7435(Slotted set screws with long dog point) 及び ISO 7436(Slotted set screws with cup point)を一体化して 1995 年に改正したものである。その後、JIS B 1053(炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質－第 5 部：引張力を受けない止めねじ及び類似のねじ部品)及び JIS B 1054-3(耐食ステンレス鋼製締結用部品の機械的性質－第 3 部：引張力を受けない止めねじ及び類似のねじ部品)の改正があったため、規定内容に相違が生じた。

したがって、これらの引用 JIS との不整合を解消する改正を行った。

・主な改正点

- (1)機械的性質を JIS B 1053 及び JIS B 1054-3 に合わせた。
- (2)規定項目及び規格票の様式を JIS Z8301 に整合させた。

・対応する国際規格

- ISO 4766 Slotted set screws with flat point
ISO 7434 Slotted set screws with cone point
ISO 7435 Slotted set screws with long dog point
ISO 7436 Slotted set screws with cup point

（3）JIS B1118 四角止めねじ（改正）

この規格は、1995 年に改正したものであるが、その後、JIS B 1053(炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質－第 5 部：引張力を受けない止めねじ及び類似のねじ部品)及び JIS B 1054-3(耐食ステンレス鋼製締結用部品の機械的性質－第 3 部：引張力を受けない止めねじ及び類似のねじ部品)の改正があったため、規定内容に相違が生じた。

したがって、これらの引用 JIS との不整合を解消する改正を行った。

・主な改正点

- (1)機械的性質を JIS B 1053 及び JIS B 1054-3 に合わせた。

(2)規定項目及び規格票の様式を JIS Z8301 に整合させた。

(4) JIS B1173 植込みボルト（改正）

この規格は、1995 年に改正したものであるが、その後、ねじ基本の JIS が制定・改正されたのに伴い、引用規格との不整合が生じた。

したがって、JIS B 0205 シリーズ、JIS B 0209 シリーズのねじ基本、JIS B 1051 の機械的性質などの引用規格に整合した改正を行った。

・主な改正点

- (1)ねじ基本の JIS B 0205 シリーズ、JIS B 0209 シリーズに合わせた。
- (2)JIS B 1041,JIS B 1044,JIS B 1051 などの引用規格を見直し、規定内容を整合させた。
- (3)ボルトの曲がりを真直度に改めた。
- (4)規定項目及び規格票の様式を JIS Z8301 に整合させた。

(5) JIS B1180 六角ボルト（追補改正）

この規格は、ISO との整合化を促進するため 2004 年に改正して、ISO によらない六角ボルトの廃止期限を 2009 年 12 月 31 日として附属書 1 に存置した。この廃止期限の到来を踏まえて、未だ生産・使用の取引が多い六角ボルトを規定した附属書 1 の廃止期限を、2014 年 12 月 31 日までとする追補改正を行った。

・主な改正点

(1)附属書を廃止して、附属書の規定部分を本体に取り入れるには、解決すべき課題、問題点が残されていることから、それらの課題を解説に明示して、附属書の廃止期限を 5 年間延長した。

・対応する国際規格

ISO 4014 Hexagon head bolts – Product grades A and B

ISO 4015 Hexagon head bolts – Product grades B – Reduced shank (shank diameter approximately equal to pitch diameter)

ISO 4016 Hexagon head bolts – Product grades C

ISO 4017 Hexagon head screws – Product grades A and B

ISO 4018 Hexagon head screws – Product grades C

ISO 8676 Hexagon head screws with metric fine pitch thread – Product grades A and B

ISO 8765 Hexagon head bolts with metric fine pitch thread – Product grades A and B

(6) JIS B 1181 六角ナット（追補改正）

この規格は、ISO との整合化を促進するため 2004 年に改正して、ISO によらない六角ナットの廃止期限を 2009 年 12 月 31 日として附属書 1 及び附属書 2 に存置した。この廃止期限の到来を踏まえて、未だ生産・使用の取引が多い六角ナットを規定したこれらの附属書の廃止期限を、2014 年 12 月 31 日までとする追補改正を行った。

・主な改正点

(1)附属書を廃止して、附属書の規定部分を本体に取り入れるには、解決すべき課題、問題点が残されていることから、それらの課題を解説に明示して、附属書の廃止期限を5年間延長した。

・対応する国際規格

ISO 4032 Hexagon nuts, style 1 – Product grades A and B

ISO 4033 Hexagon nuts, style 2 – Product grades A and B

ISO 4034 Hexagon nuts – Product grades C

ISO 4035 Hexagon thin nuts (chamfered) – Product grades A and B

ISO 4036 Hexagon thin nuts (unchamfered) – Product grades B

ISO 8673 Hexagon nuts, style 1 , with metric fine pitch thread – Product grades A and B

ISO 8675 Hexagon thin nuts (chamfered) with metric fine pitch thread – Product grades A and B

(7) JIS B1183 六角袋ナット（改正）

この規格は、2001年に改正したものであるが、引用しているJIS B 1181(六角ナット)の附属書2の廃止期限が2009年12月31日となっているため、この規定の改正が必要である。また、ねじ基本のJISが制定・改正されたのに伴い、引用規格との不整合も生じた。

したがって、廃止される附属書の機械的性質の規定及びねじ基本のJISと整合した改正を行った。

・主な改正点

(1)機械的性質のJIS B 1181の引用を改め、規定事項を直接規定した。

(2)ねじ基本のJIS B 0205シリーズ、JIS B 0209シリーズに合わせた。

(3)規定項目及び規格票の様式をJIS Z8301に整合させた。

(8) JIS B1184 ちょうボルト（改正）

この規格は、1994年に改正したものであるが、その後、ねじ基本のJISが制定・改正されたのに伴い、引用規格との不整合が生じた。

したがって、JIS B 0205シリーズ、JIS B 0209シリーズのねじ基本の引用規格に整合した改正を行った。

・主な改正点

(1)ねじ基本のJIS B 0205シリーズ、JIS B 0209シリーズに合わせた。ねじの呼びM2.3及びM2.6を削除した。

(2)ねじ穴の偏心を位置度に、座面の傾きを全振れに規定を改めた。

(3)規定項目及び規格票の様式をJIS Z8301に整合させた。

(9) JIS B1185 ちょうナット(改正)

この規格は、1994年に改正したものであるが、その後、ねじ基本のJISが制定・改正されたのに伴い、引用規格との不整合が生じた。

したがって、JIS B 0205シリーズ、JIS B 0209シリーズのねじ基本の引用規格に整合した改正を行った。

行った。

・主な改正点

- (1)ねじ基本の JIS B 0205 シリーズ, JIS B 0209 シリーズに合わせた。ねじの呼び M2.3 及び M2.6 を削除した。
- (2)ねじ穴の偏心を位置度に、座面の傾きを全振れに規定を改めた。
- (3)規定項目及び規格票の様式を JIS Z8301 に整合させた。

(10) JIS B1196 溶接ナット (改正)

この規格は、2001 年に改正したものであるが、引用している JIS B 1181(六角ナット)の附属書 2 の廃止期限が 2009 年 12 月 31 日となっているため、この規定の改正が必要である。また、ねじ基本の JIS が制定・改正されたのに伴い、引用規格との不整合が生じた。

したがって、廃止される附属書の機械的性質の規定及びねじ基本の JIS と整合した改正を行った。

・主な改正点

- (1)機械的性質の JIS B 1181 の引用を改め、規定事項を直接規定した。
- (2)ねじ基本の JIS B 0205 シリーズ, JIS B 0209 シリーズに合わせた。
- (3)規定項目及び規格票の様式を JIS Z8301 に整合させた。

新 JIS マーク制度への対応

平成 17 年 10 月 1 日から施行された「新 JIS マーク表示制度」への切換えが、平成 20 年 9 月 30 日で終了した。この間、新 JIS マーク認証取得希望者に対する助言・相談にのるほか、過重な負担にならないように認証機関 (JQA, JICQA, 建セ) への質問・提案及び当該機関との意見交換を行った。平成 21 年 2 月 27 日現在、ねじ関係では 14 規格、90 社が認証を取得している。

平成 20 年度に制定・改正された JIS

平成 19 年度に当会が作成・協力した JIS 原案のうち、次の 7 規格の規格票が発行された。

この結果、当会が関与した JIS の総数は、141 規格になる。

2009 年 2 月 20 日付けで改正された JIS

B 4501 ねじ転造丸ダイス(追補 1)

B 4502 ねじ転造平ダイス(追補 1)

2009 年 3 月 20 日付けで改正された JIS

B 1004 ねじ下穴径(改正)

B 1082 ねじの有効断面積及び座面の負荷面積(改正)

B 1116 精密機器用すりわり付き小ねじ(改正)

2009 年 4 月 20 日付けで制定・改正された JIS

B 1006 締結用部品—一般用メートルねじをもつおねじ部品の不完全ねじ部長さ(改正)

B 1018 締結用部品—一般用メートルねじをもつおねじ部品の逃げ溝(制定)

他団体への協力

- (1) 社団法人自動車技術会の「要素部会」の委員として参画し、JASO 作成に協力した。
- (2) 日本金属継手協会の「ISO/TC 5/SC 5 国内対策委員会」の委員として参画し、国際標準化事業に協力した。
- (3) 財団法人日本規格協会が発行する JIS ハンドブック「ねじ」及び「機械要素」の編集協力を行った。

III. 指導委員会関係

- (1) 当会の第 39 回定時総会時に、次の技術講演会を開催した。

演題 1 :「ねじ研究の回顧

－日本ねじ研究協会での共同研究の想い出』

講師：元 湘南工科大学 大橋 宣俊 氏

演題 2 :「ねじ研究の回顧」

講師：信州大学 賀勢 晋司 氏

- (2) 前年度に引き続き、設計者・技術者を対象にした、ねじ締結講習会を実施した。

平成 20 年 8 月 29 日(金) 10:00-16:00 機械振興会館 6 階 66 号室

10:00-11:30 ねじ締結の基礎—ねじ締付けの意義と軸力管理の要点—

講師 萩原 正弥氏(名古屋工業大学)

12:30-14:00 ねじ締結の体系的計算法(その 1)—VDI2230 による設計のポイント

講師 賀勢 晋司氏(信州大学)

14:15-15:45 ねじ締結の体系的計算法(その 2)—VDI2230 のによる計算例

講師 川井 謙一氏(横浜国立大学)

講習会の参加者は、会員 17 名 非会員 39 名 プレス 3 名 事務局 3 名 合計 62 名であった。

- (3) 社団法人日本高圧力技術協会が主催する「圧力機器及び配管におけるガスケット法兰ジ締結体のシーリングテクノロジー」HPI 技術セミナーに、協賛団体として協力した。

- (4) 2009 年 11 月に当会の創立 40 周年を迎えるため、記念事業の内容を検討する準備委員会を設置した。

- (5) 研究者・技術者の若手の有志が集まって、(仮称) 新進部会の設立、事業内容などについての意見交換を 2 回を行い、今後の具体的な活動方針を議論した。

IV. 出版委員会関係

(1) 会誌の発行

出版委員会[委員長 賀勢晋司氏(信州大学)]の各委員の協力により、日本ねじ研究協会誌 39巻4号(2008年4月)から40巻3号(2009年3月)[通巻460号~471号]までの12冊を発行した。

(2) ねじ研究十年の成果－第4篇(1999年－2008年)の準備

日本ねじ研究協会は昭和44(1969)年10月に設立されており、平成21(2009)年には40年に達する。これまで10年、20年、30年と「ねじ研究十年の成果」を取りまとめてきたので、40年も同様に成果集を発行する。そのため、第4篇の発行に向けて、10年間の成果を当時の関係者により分担執筆し逐次、会誌掲載を行った。

(3) ホームページの更新

日本ねじ研究協会の活動、成果、動静等を伝える情報発信手段として、会員向けに毎月会誌を発行しているが、これに加えて一般社会に向けての情報発信としてホームページ（アドレスwww.jfri.jp）を開設して1年が経過した。

ホームページの提供情報の更新を、逐次(原則、月1回)行った。これにより、一般ねじユーザーからの問合せ、及び当会発行の図書の購入申込みがそれなりに有り、ホームページによる効果が出てきたと評価できる。